

2. 事業の概要

申請する事業名	留学生のためのウィークエンドホームステイ
事業の実施期間	平成 29 年 8 月～9 月
主に活動する行政区 ／地域・場所	(京都市〇〇区) / (町内会、学校等) 京都市伏見区(京都市伏見区〇〇学区)
事業の対象者／人数	外国人留学生 / 30 人 ホストファミリー 30 家庭
どのような目的で事業を実施するのか・事業の効果 (事業を実施する背景・地域のニーズも記入) ※背景・ニーズの記入に当たっては、できる限り、地域の方や関係する行政機関等から意見を聴いて記入してください。	多分野でのグローバル化が叫ばれる一方、希薄になりつつある地域交流を含めた地域活性化が課題となっている。該当行政区役所との意見交換では、「外国人留学生と地域との交流を更に深めていく必要があると考えている」とのことなので、本事業はこれら課題を所謂「グローバル」な視点で捉え、外国人留学生に京都市域の魅力を発信しつつ、国際交流を通じて地域活性化を狙う。
事業の内容 (目的を達成するために、どのような事業を実施するのか) (詳細を具体的に)	<p>【事業の内容】</p> 京都市伏見区〇〇学区を中心としたエリアにて、週末ホームステイ(1泊2日)を中心とした国際交流事業を行う。 京都は外国人観光客にとって人気都市であり、京都在住以外のほとんどの外国人留学生も来日中に必ず訪れる街の一つである。この魅力を単なる観光だけで終わらせることなく、実際の暮らしの中で、京都の魅力や日本人の生活様式を体験してもらうことで、日本のイメージをより具体化させ、帰国後の口コミ効果を狙う。 地域住民にとっては、外国人留学生を家庭に迎えることで、世界を身近に感じてもらい、多文化理解につなげる。 <p>【事業実施に向けた関係団体等との調整状況】</p> 平安大学域学連携推進室、国際交流サークル「Melting Pot」、伏見区〇〇学区自治会が地域住民の方への説明会を 5 月に開催し、6 月には具体的なホストファミリーを決定する。
連携する団体とそれぞれの役割	(事業実施にあたり連携する大学の団体・グループ名、連携する地域団体名など) 平安大学域学連携推進室 国際交流サークル「Melting Pot」 伏見区〇〇学区自治会 (各団体の役割) 平安大学域学連携推進室: 予算執行管理 国際交流サークル「メルティングポット」: 企画運営 伏見区〇〇学区自治会: ホームステイの受け入れ推進

<p>これまで、大学・学生と地域が連携して取り組んだこと。また工夫していること ※ある場合のみ記入</p>	<p>留学生を中心とした外国人と地域住民のふれあいイベントを多数企画している。スポーツや料理といった体験型イベントを通じてコミュニケーションをはかることで、言葉の違いが壁とならないよう工夫している。</p>
<p>事業の独自性・先進性 (他地域に参考となる点をPRしてください。)</p>	<p>「旅行ガイドブック」や「ホームページ」といった観光案内媒体主導型による京都の魅力発信ではなく、「一般家庭」という地域主導型による京都の魅力発信であるという点。 前者では、観光地は旅行客ばかりでうんざりするといった経験をするものも多いが、後者は隠れた京都の穴場を知ること可能。</p>
<p>事業の今後の展望、将来性 (地域活性化事業としての将来性をPRしてください。)</p>	<p>全国から外国人留学生が集まることで、これまで、他地域を目指していた留学生がロコミで、「京都伏見」にやって来る。 「SAKE」は海外でとても人気があるので、日本屈指の酒処伏見を、外国人留学生にPRすることで、伏見の地場産業活性化にも将来、繋がるのではないかと考える。 地域住民にとっては外国人を受け入れることによって、国際情勢等の海外への関心を自然と抱くようになり、彼らと比較することによって、客観的に日本、京都を見ることができるようになる。</p>
<p>事業に継続して取り組むことの意義 (これまでの取組を踏まえ、改善したことや新しく取り組むことがあれば併せて記入してください。)</p>	<p>(継続事業のみ記載) 継続して取り組むことで、ロコミでの拡がりを期待するとともに、大学を通じた国際交流を進めることで、京都の魅力を地域レベルから発信し、さらなる外国人観光客誘致、地域の産業、観光の活性化につなげる。今年度は参加者を増やすため、積極的な外国語での広報やチラシ配布先の多様化、広報方法の多様化(HP制作、SNSなどの活用)などを考えている。 ※継続事業の場合は必ず記入のこと</p>
<p>事業に取り組むことの文化的意義 (実施する事業のどのような点が文化的な取組なのか、その文化的な取組によりどのように地域に貢献できるか、あるいは地域にどのような効果をもたらすかを、自由に記入してください。)</p>	<p>(文化枠で申請する場合のみ記載) ※文化枠で申請の場合は必ず記入のこと</p>

<p>印刷物や映像などの 成果物の活用方法</p> <p>(どのような媒体を、どの ように活用するか、地域へ の文化の継承・発信という 観点から、地域の方の意見 も聴いて記入してくださ い。)</p>	<p>(文化枠で申請する場合のみ記載)</p> <p>※文化枠で申請の場合は必ず記入のこと</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------

3. 予算書

事業経費			
経費区分	支出予定額(A)	うち本支援金額	(支出予定額(A))の内訳
印刷製本費	200,000	100,000	募集チラシ作成(A4判〇〇枚)
旅費交通費	120,000	120,000	〇〇のための学生送迎代 30名 *4,000円(区間, 交通手段, 回数)
通信運搬費	33,000	15,000	関係機関チラシ送付代
会議費	50,000	30,000	〇〇のための会議に係る会場使用料 5,000円*10回(会場名)
消耗品費	50,000	35,000	事務処理にかかる消耗品費(〇〇, 〇〇等)
合計	453,000円	300,000円	

収入額		
区分	収入予定額	内訳
学まちコラボ事業支援金	300,000	学まちコラボ事業支援金
平安大学	100,000	平安チャレンジ事業助成金
ホームステイ申込金	30,000	申込者 1,000円*30名
自己資金	23,000	
合計	453,000円	

本支援金が充て可能な事業実施経費の経費区分としては次のとおりです。なお、「飲食費」や「申請団体メンバーへの賃金」、「当該事業採択に伴う、事務処理等の間接経費」として支出することは不可といたします。

旅費交通費(出張に伴う交通費など)、通信運搬費(電話代、郵送料および宅配料など)、諸謝金(講師や外部協力者に対する謝金など)、会議費(会議のための会場利用料など)、印刷製本費(資料などのコピー代、チラシの作成費など)、資料費(図書・文献購入費など)、機材購入費(支援金額の3分の1までで収まるようにしてください)、消耗品費、その他(保険料、委託費など)

※注 文化枠で申請する場合、支援金を活用し、文化の継承・発信につながるよう取組の成果物(印刷物や映像等)を作成していただきますので、その内容を盛り込んだ予算計画を立ててください。

○他の助成金を申請している場合(予定を含む)は、助成申請事業名、申請先、収入額(申請額)、決定日(予定)を下表に必ず記入してください。

※本事業以外の京都市助成金(各区まちづくり支援事業等)の採択決定の場合、本事業認定は受けられません。

助成申請事業名	申請先	収入額(申請額)(円)	決定日(予定)
平安チャレンジ事業	平安大学	100,000	〇月〇日(予定)